

★ 第6回講義: 内定を勝ち取った院生たちが語る!

★ 第7回講義: 営業職で活躍するOBたち

※このNewsletterは、東京海洋大学キャリア開発室が作成・配信しています。キャリア開発に関するイベントのお知らせや活動報告等をお届けしています。

国立大学法人
東京海洋大学・キャリア開発室
電話: 03-5463-0575
Email: career@m.kaiyodai.ac.jp

● 第7回 高度専門キャリア形成論が開催されました

詳細はHPで

「博士人材、企業の最前線で働く」

平成27年11月19日(木) 16:20~17:50 於 2号館100A教室

～ 研究の知で日本の水産を変える仕組みを創る ～

南場敬志 氏 博士(海洋科学) 株式会社リバネス研究事業部

※ 魚市場に就職したが、仕事と生活はとても厳しかった

しかし、生産・加工・流通・販売という水産業の一連の流れの全てを経験することができ、現場でどんな課題を抱えているかも見ることができた。この時の経験は、今でも自分の宝になっている。

※ 分かり易い言葉で双方がコミュニケーションできる場を提供

大学で研究・開発された知見が現場まで届いていない。そして、現場も大学の研究成果を使える仕組みができていない。リバネス社でなら、様々な分野のサイエンスブリッジが自分の課題を解決してくれると考えて入社した。

※ 私と一緒に、分かり易く伝えるコミュニケーションの力を見つけていきましょう!

～ 海洋機器を世界に売り込む技術営業 ～

國分祐作 氏 博士(海洋科学) JFEアドバンテック株式会社海洋・河川事業部貿易室



※ JFEアドバンテック社には営業として入社した

元々、機械のことが好きで、こんな改良を誰かに伝えたい、こんな機能の機器を作りたいと考えていた。そして、それを自分で作ってビジネスに繋げてみたいと思うようになった。

※ 営業職は複数の能力やスキルが必要になる

製品知識だけではなくプラスアルファが求められる。現場での作業経験や研究者との触れ合いが貴重であり、会話力や文化の理解等のコミュニケーション力が育まれる。海洋は総合力が試される分野であり、ビジネスでも使える技術を経験することができる。

※ 皆さんも、国内外を問わず通用する人材になって欲しい。



◆ キャリア開発室の活動内容、最新情報、各種パンフレットや申請書等はホームページから…

◆ メールアドレスを登録すると、講義日程・内容等をメールでお知らせします。ホームページから登録できます。 <http://www.kaiyodaicareer.com/>



● 第6回 高度専門キャリア形成論が開催されました

詳細はHPで

「志望企業への内定を勝ち取った院生たちが語る！」

平成27年10月22日(木) 16:20~17:50 於 2号館100A教室

～ 何が決め手となったのか? 就活に役立ったことはなに? ～

今年度の就活を終了した6名の先輩に体験談を話していただきました。

共通しているのは、就活を早い時期から始めたこと、準備段階で企業を絞り込んでおいたこと。そして、5～6月頃には内々定を獲得されています。働き方について自分と向き合う就活は、自分が大きく成長できる機会でもあります。
塩谷 和美 特任教授 (キャリア開発室)

※ 藤田慶彦さん (MC2)

大学の実績だけに捉われず、自分のやりたいことを中心に、業界を絞って会社を選んだ。面接では質問に答えるだけではなく、熱意が伝わることを意識して喋ったことが内定を獲得した理由だと思っている。色々な人の話を聞き、人から見られることを意識すると良いと思う。



※ 菅原大地さん (MC2)

他大学の応募者を見ることで、会社選びの参考になった。先生や友人とたくさん話し、客観的に見てもらうことが大事だ。面接では楽しそうに、分かり易く、そして面白く伝えることが重要だと感じた。OB訪問等で、企業のことを理解していく努力が成功に繋がったと思う。縁をたぐり寄せていくような就活だった。



※ 井川かなえさん (MC2)

E Sが上手く書けない会社は、自分に合っていないからだと思う。地方にも優良企業がある。社内競争が少なく、一人ひとりの裁量が大きく、残業も少ない方が良い人にはU・Iターンを勧めたい。自分を飾り過ぎないことが内定の決め手だったと思う。ストレスは、指導教員と相談しながら打開策を見つけていった。



※ 澁谷勝晶さん (MC2)

内定が出なかったため、多くの会社にエントリーする結果となった。他での就活経験は、自分を上手く売り込む役に立った。「ここで働きたい」と強い意志を示したことが内定の決め手になったと思う。業界研究で、会社を絞っておくことが重要だと感じた。就活だけだと気が滅入るので、学業や遊びも取り入れてほしい。



※ 齋藤有希さん (MC2)

公務員と民間を両立しようとする中、中途半端になって身が入らない。本社説明会で、生き活きと仕事をしている社員の方々に会い入社を決めた。持ち前の性格を活かし、海洋大での経験をアピールしたことが内定の決め手になったと思う。5年後、10年後も、ヤリガイを持って働ける職場を探すことが一番良いと思う。



※ 提箸真弘さん (MC2)

公務員と民間を併願した就活だった。学内合同説明会でモチベーションを上げた。公務員と民間では、試験対策も面接対策も全く違う。公務員の面接でも、明るさ、前向きさが終始求められ、笑顔が大事だ。就活は準備が8割。戦友や相談できる人を探すことも大切だ。応募先に個別の接点を持つと、志望動機が書き易くなる。

